

デザイン実践	教科	工業	単位数	2単位
	学科、学年、組	情報デザイン科 3学年 6組		
使用教科書	デザイン実践(実教出版株式会社)			
副教材等	なし			

1 科目のねらい(目標)

学習の到達目標	<p>工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、社会や生活における諸課題をデザインによって解決することに必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) デザインについて社会や生活との関係を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2) デザインにより解決できる課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき構想を立て解決する力を養う。</p> <p>(3) デザインによる豊かで快適な生活空間を構築する力の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>
---------	---

2 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、以下の観点についてそれぞれABCで評価し、各観点の割合を基に評定(5段階)で総括します。

評価の規準 A:十分満足できる、B:おおむね満足できる、C:努力を要する

評価の観点及び内容		観点の割合	評価方法
知識・技能	デザインについて社会や生活との関係を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けられた。	40%	・定期考査、小テスト ・授業への取り組み状況 ・ノートや課題の内容
思考・判断・表現力	デザインにより解決できる課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき構想を立て解決する力を養えられた。	30%	・定期考査、小テスト ・授業への取り組み状況 ・ノートや課題の内容
主体的に学習に取り組む態度	デザインによる豊かで快適な生活空間を構築する力の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養えられた。	30%	・授業への取り組み状況 ・ノートや課題の内容

3 学習計画

学期	学習内容	学習のねらい
1	第4章 プロダクトデザイン 第1節 プロダクトデザインの概要 第2節 インダストリアルデザイン	<ul style="list-style-type: none"> 生活の中のプロダクトデザインについて知り理解する。 エコデザインやユニバーサルデザインについて知り、思考を深め理解する。 プロダクトデザインの技術要素、人間要素、環境要素を知り工業製品における発想法を理解する。 プロダクトデザイナーに求められる力について理解する。 インダストリアルデザインの定義について知り理解する。 生活機器や産業機器のデザインの特徴について理解する。 材料やデザインの事例について関心を持ち理解する。
2	第3節 繊維・服飾デザイン 第4節 工芸品のデザイン 第5章 環境デザイン 第1節 環境デザインの概要	<ul style="list-style-type: none"> 織物や染色、服飾といったテキスタイルデザインについて知り理解する。 テキスタイルデザインの意義と手法について理解する。 工芸品のデザインの概要について知り理解する。 工芸品のデザインの歴史や素材、加工技術について理解する。 環境デザインについて知り理解する。 地球環境やサステナビリティについて関心を持ち、主体的に探究し、理解する。
3	第2節 住空間のデザイン 第3節 公共空間のデザイン 第4節 都市空間のデザイン	<ul style="list-style-type: none"> 住居デザインの概要について理解する。 住空間の計画やインテリアデザインについて学び、目的及び手法について知り理解する。 住環境のデザインについて関心を持って学び理解する。 公共の外部空間や内部空間のデザインについて知り理解する。 公共空間のデザインや機能、目的について関心を持って学び理解する。 都市空間のデザインについて理解している。 都市の問題点と対策について学び思考を深め理解する。 都市計画と街並みのデザインについて学び、その機能や目的、手法について理解する。 <p>※工業におけるデザイン、デザインと創造活動、ビジュアルデザインは2年生で履修。</p>